

震災当日の病棟と入院患者の状況

部署	患者数	患者と病室の状況	詰所、病棟の状況	当日の対応と看護婦の状況
5階	64 緊急 20	落下物が額に当たった擦過傷1名。 スチールロッカー、床頭台が歪み開閉が出来ない。ベッドが壁面に衝突して壁面を損傷、TV落下。	本棚、スチールロッカー落下、カルテや本類が散乱。 製氷機の配管接続部破損で漏水のためにカルテ、書類が水に濡れる。 蓄尿瓶棚から落下。配膳室の給湯器落下破損。 処置室の器材、輸液ボトル落下破損。 ロビーのシャンデリア落下。	深夜勤務者3名が直ちに患者の安全を確認。 看護婦寮からの緊急出勤者と出勤者(14名)で詰所の整理。3名が外来に応援に行く。 与薬と介護、緊急受入れ患者用のベッド作成に追われる。 当日の連絡不能者7名。
4階	67 緊急 13	患者の負傷なし。 2段式床頭台は転落。ロッカー、ベッドが衝突して壁面の損傷数カ所。	本棚転倒、ナースコール破損。	深夜勤務者4名で患者の安全確認。 ナースコールが不良のために部屋毎に声をかけて確認する。 看護婦寮から8名、その後5名出勤し翌日まで連続勤務となる。 病室、トイレ整理、飲料水とトイレ排水用水汲み。 緊急受入れ患者用ベッド、受入れ場所の準備に追われる。 4名は外来応援。2交代勤務とする。 連絡不能者3名。
3階	36	患者の負傷なし。 人工呼吸患者1名はアンビュバックで継続した。 ナースコールが引きちぎれ、ベッドが壁面に衝突、2台歪む。 病室、回復室の窓ガラス3枚破損、洗面台2カ所破壊。	処置室の水道管破裂で処置室、廊下、詰所内が水浸し。 各室の棚から落下、注射アンブル多数破損。 蓄尿瓶落下。	深夜勤務者2名で指示あるまで部屋から出ないように声をかけて落ちつかせ、ガス漏れを懸念して禁煙を呼びかけた。 直ちに看護婦寮生3名が寝巻姿で、更に2名が駆けつけた。当日出勤者11名、準夜予定者3名も昼頃出勤す。 病棟内で3交代勤務を確保。 緊急受入れ患者用ベッド準備、外来応援3名。 連絡不能者2名。
2階	25 緊急 32	患者の負傷なし。 人工呼吸器使用者はアンビュバックで継続。 分娩室が散乱し、分娩2件を病室で行い、母子同室で看護。 混乱した中で痴呆患者(徘徊)1名はつききりとなる。	製氷機の接続配管が破損して水漏れをおこし、詰所、新生児室、廊下に水が溢れ、カルテ、フィルム類が濡れて汚染。 処置室の棚、本棚、機器類の転倒。	深夜勤務者4名はそのまま勤務、6名が朝駆けつけ、更に昼に7名、夕刻2名が出勤。 連絡不能9名、1名他院に入院した。

部署	患者数	患者と病室の状況	詰所、病棟の状況	当日の対応と看護婦の状況
南3階	16 緊急 65 以上	患者に負傷者なし。 ベッドは壁面や互いに衝突。 病室ロッカー転倒。	製氷機の配管接続部が破損し浸水。 透析は中止し、緊急搬入患者の処置室になる。当日透析予定の外来患者には、他の透析可能病院を掲示で紹介。	深夜勤務者2名、内1名は散乱した物品の整理やその後の応援で帰れず。当日の連絡不可7名。 出勤21名と学生6名で緊急患者の収容、処置に当たる。入院中の患者の処置は夕方まで出来ず、次々に搬入される患者の対応に終日追われる。記録はA4用紙等に処置、観察記録をメモする程度で、緊急薬剤、物品、ゴミ処理等は全く追いつかず。
南2階	33 緊急 22	負傷者なし。 床頭台転倒、TVほぼ全部転落、ロッカー転倒、ナースコール、壁面コンセント、TVアンテナ接続部など破損。 ドアの上部滑車が外れて開閉不能。	清拭車、冷蔵庫が転倒。モニター転落、輸液ポンプ転倒、戸棚が転倒してガラス戸を破損しアンプル多数破損。 製氷機接続配管破損して漏水。	深夜勤務者2名が患者の安全確認。10名出勤。外来応援1名。 連絡不能1名。 緊急入院患者の処置は看護婦の判断で行い、医師に報告、指示を受ける。従来からの入院患者の指示事項も殆ど口頭指示となり、看護婦が看護記録に記載。
東3階	39 緊急 15	倒れてきたロッカーで1名裂傷。 ロッカー転倒、ベッドが壁面に衝突して損傷。 ナースコール破損10カ所。 床頭台の転倒。	冷蔵庫、棚の転倒。製氷機の配管接続部が破損して浸水。 詰所のナースコールの親機作動不良。 給湯室のガス器具が倒れかかって使用不能。	深夜勤務者2名が患者の安全を確認。看護婦寮生2名が駆けつけ、他4名勤務。 深夜勤務者はそのまま継続勤務。 連絡不明者2名
東2階	36 緊急 16	床頭台が倒れて上腕骨折1名。 床頭台の転倒。 ベッドが壁面を損傷。 個室の洗面台破損2、コンセント破損。	棚類、乾燥機転倒、ガラス破損。 製氷機接続配管破損、漏水。	深夜勤務者2名が患者の安全を確認、病室単位で離れないように指示。 出勤者8名、連絡不可3名。 2交代制をとる。 看護婦がそろった時点で整理と緊急受入れ場所の準備。
外来		すべての場所で棚類が転倒し、書類が散乱し足の踏み場もない。 学生の協力で外来処置室を急いで整理して緊急患者に備える。		深夜勤務者1名、日勤7名に当日の準夜5名が終日勤務。 看護学生10名、他部署からの応援者、ボランティア医学生2名が支援。ほとんど飲まず食わずの1日となる。 連絡不能14名。